

「瀬谷区日本語ボランティア入門講座」

主催：瀬谷区地域振興課、(公財)横浜市国際交流協会

地域日本語教育推進モデル地域(瀬谷区)事業の取組として、全4回の日本語ボランティア入門講座を実施しました。瀬谷区に住む外国につながる人々の状況について理解を深めながら、「対話」をキーワードに、日本語学習支援について学びました。最終回には街歩きツアーを実施し、外国につながる人とやさしい日本語で交流しました。

■内容

第1回：瀬谷区で多文化共生

第2回：「やさしい日本語」で
コミュニケーション

第3回：日本語ボランティア活動を知ろう

第4回：“やさしい日本語”で
瀬谷のいいところ!発見ツアー

■背景

瀬谷区には2023年6月現在約2,300人の外国人が在住しており、過去5年の増加率は30%となっています。また、瀬谷区内には3つの日本語教室がありますが、ボランティアが足りず学習者の受入れが難しい、もう少し多くボランティアがいれば、一人一人の話をじっくり聞いたり、ゆっくり支援ができる等の声がありました。

■講座の目的

- ・区内の外国につながる人々の状況を知り、地域の日本語教室や、やさしい日本語について学ぶことで、ボランティア活動を始めるきっかけとなること。
- ・区内の日本語学習や多文化共生に関する活動が、受講者へと更に広がること。

受講者の声

- ・「対話」が大事であるということ、教えるではなく、もっとフラットな関係であること、傾聴が大切ということが深く刺さった。
- ・講座全体を通して、インプットばかりでなくアウトプットの場があり、グループワークが楽しかった。色々な方とのふれあいは自身をまた一つ豊かにしてくれた。
- ・同じグループの方々と早速日本語教室の見学に行くことになった。
- ・なかなか一人では見学も勇気がいるが、まずはお仲間と一歩を踏み出そうと思う。

講師

嶽肩 志江さん
横浜国立大学、慶應義塾大学 非常勤講師

講師 アシスタント

林 静さん、薛 芳芳さん、稲田 亜希さん、
通訳・翻訳グループ カムオン・シェシェ

日時

2023年11月4日(土)・18日(土)、12月17日(日)
10:00-12:00
2024年1月20日(土) 10:00-14:00
(全4回)

場所

瀬谷区役所大会義室
※1月20日は瀬谷地区センター

対象

入門講座：瀬谷区内での日本語ボランティア活動
に関心のある人
第4回ツアー：瀬谷区及び近郊在住の外国に
つながる人

協力

通訳・翻訳グループ カムオン・シェシェ
せやにほんごプロジェクト (地域日本語教室)

参加者数

入門講座受講者 23人 (のべ87人)
第4回ツアー参加の外国につながる人 8人
(パキスタン3人、タイ2人、アメリカ1人、中国1人、
日本1人)

よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

瀬谷区日本語ボランティア入門講座

瀬谷区で多文化共生

目指したこと:学習者(外国につながる人)の背景を理解する

瀬谷区地域振興課より区内の外国につながる人々の状況や、区内で多文化共生のための活動をしている団体などの紹介をしました。

その後、学校や幼稚園・保育園への通訳派遣などを行う「通訳・翻訳グループ カムオン・シェシェ」や外国につながる人の声を聞きました。「地震や災害、防災に関する情報が得られなかった(情報がほしかった)」「幼稚園と保育園の違いが分からなかった」

など日本の生活での困りごとの他、「先輩の外国人ママにアドバイスをもらった」ことや、「地域の日本語教室で日本語だけでなく生活のことも知れた」ことが助けになったなど、日本で暮らす外国につながる人の生の声を聞くことができました。

カムオン・シェシェでは、かつて先輩ママや地域の教室に支えられてきた外国人ママが、今度はサポートする側となり団体の中心メンバーとして、通訳・翻訳以外にも母語支援や交流プログラムの企画など、幅広く活躍されているそうです。

<内容>

- 1) 区内の外国につながる人々の状況
瀬谷区地域振興課
- 2) 多文化共生の現場より
通訳・翻訳グループ カムオン・シェシェ
- 3) 横浜市内の多文化共生の取組
(公財)横浜市国際交流協会
- 4) 地域に暮らす外国につながる人の声を聞いてみよう
外国につながる人(中国2名、台湾1名)

【受講者より】

- ・自分が苦労した経験を活かして、今度は自分達がサポートする側に回って活動されているのは素晴らしい。
- ・日本語を教えるというだけでなく、自分も学び楽しみたい。

「やさしい日本語」でコミュニケーション

目指したこと:日本語の特徴や「やさしい日本語」について知る

本講座のキーワード



対話

外国語が
話せなくても
問題ありません!

声を聴く



対話を円滑にするための一つのツールが → やさしい日本語

【受講者より】

- ・外国の方には英語、と思いついていたけれど、やさしい日本語の方が伝わると知り驚いた。
- ・「(日本語での)対話も大切な(日本語の)勉強である」ということは、自分もできることがあるのだと勇気づけられた。

この回では、外国語としての日本語の特徴や「やさしい日本語」について学んだ後に、実際にやさしい日本語への言い換えにもチャレンジしました。「オノマトペは外国の人にとって一番やさしい表現と思っていたので大変驚いた」など、多くの気づきがあったようです。

また、日本語教室で活動するための「私の活動リソース」について、自分の「好きなこと・できること」「地域とのつながり」「私が活動から得られる/得たいもの」「人と違う経験」という視点からワークシートに書き出していきました。書き上がったシートには、日常での外国につながる人や子どもたちとの関わり、仕事についてなど、受講者の皆さんの様々な経験や思いがありました。

第2回

11/18(土)
10:00-12:00



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします!



瀬谷区日本語ボランティア入門講座

日本語ボランティア活動を知ろう

目指したこと:区内の日本語教室の活動を知る、交流活動の準備をする

瀬谷区でオンライン教室と学習支援教室を実施するせやにほんごプロジェクトより活動紹介がありました。せやにほんごプロジェクトは、2021年度の瀬谷区日本語ボランティア入門講座の受講者有志が、新たに作った教室です。メンバーからは団体立ち上げの経緯や、活動をする中での思いについてお話がありました。また、「外国につながる方のお話は多種多様で魅力的です。」「肩の力を抜いて、気軽に参加してみてください。日本語ボランティアのハードルは思ったより低いです。」などのメッセージが伝えられました。受講者からは「一步踏み出してみたい」、「背中を押してもらえた」など今後の活動への前向きな声が多く聞かれました。続いて、前回学んだ「やさしい日本語」の実践練習として、ベトナム人のアシスタントやブラジルからの留学生などが各グループに入り、受講者が「うける」「キレる」などの意味をやさしい日本語で説明したり、お互いについて質問しあったりしました。その後、第4回のツアー準備を行い、1/20に初めて会う外国につながる人たちとどんな話をするか等話し合いました。グループで協力して活動を楽しむ様子がありました。

<ベトナム出身の講師アシスタントより>

食べ物のことや、郵便局の休みの情報などは魅力的だった。瀬谷センター・図書館の使い方についての話はとてもいいと思う。

「やさしい日本語」で瀬谷のいいところ発見ツアー

目指したこと:やさしい日本語を使って外国につながる人と交流する講座やツアーを通しての学び・気づきを共有する



「やさしい日本語」で対話を重ねながら、地域や互いのことを理解していく実践活動として、外国につながる人と受講者がグループになって、瀬谷センター・瀬谷駅周辺をめぐる街歩きツアーを実施しました。ツアー参加者からの「何の店ですか?」との質問でコインランドリーを見に行ったり、商店街の肉屋やせんべい屋、親子のひろばなどを訪れました。小さなお子さん連れのグループは瀬谷センターの中の幼児ルームを見学した後、図書コーナーで外国語絵本を一緒に楽しむなど、区内の生活の場で、「やさしい日本語」での対話や情報交換を楽しむことができました。

講座後の振り返りでは、「やさしい日本語の使い方だけではなく、話をよく聞くことも大切」「答えが返ってこないのは、考えている最中だったのかもしれない」など対話の際の姿勢についても気づきの声がありました。

講座後には、地域の日本語教室見学に行く約束をしたりと、受講者同士の交流や今後の活動につながる様子も見られました。

第3回
12/17(日)
10:00-12:00

【受講者より】

- ・自分がやさしい日本語だと思って使った言葉が、外国の人にとっては分かりづらいというギャップを実感することができた。
- ・(せやにほんごプロジェクト発表を聞いて)自分も一步踏み出せばできるのかなと感じた。

第4回
1/20(土)
10:00-14:00

【ツアー参加者より】

- ・やさしい日本語で話してくれて、子供も話しやすかった。勉強になった。
- ・日本語をたくさん話した。楽しかった。

【受講者より】

- ・お子さんのボランティアをする時のイメージができた。
- ・ゆっくり、短く、カタカナ語を使わないなどが実践できた。
- ・交流を通して相手のことを知る重要性を感じた。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします!